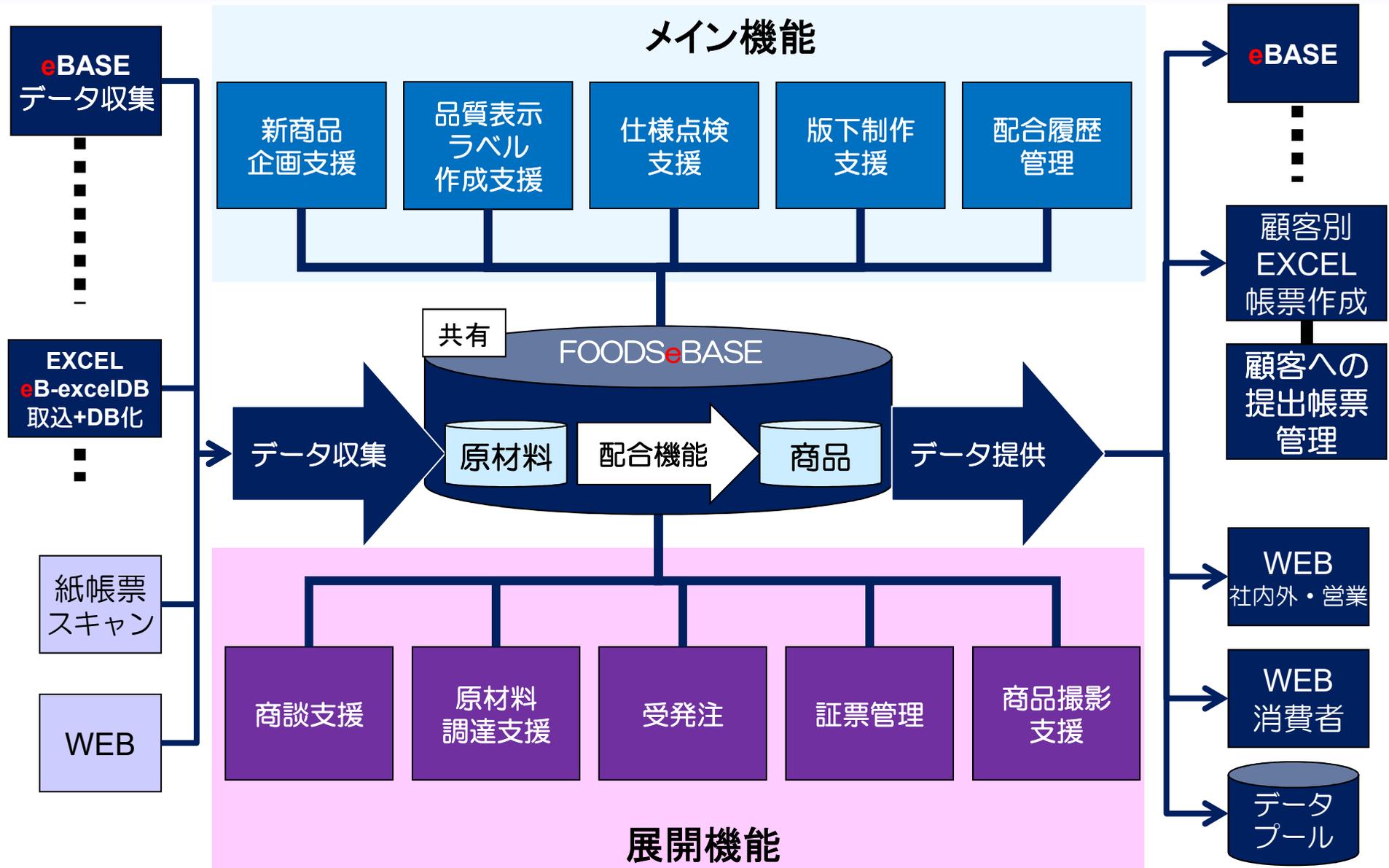


FOODS **e**BASE  
導入事例紹介  
(力ネ美食品株式会社様)

2011年11月7日  
**e**BASE株式会社

# FOODSeBASE 全体機能マップ



# FOODSeBASE システム利用範囲

## ①データ収集

- 仕入先からの原料、商品規格書の情報収集ツールとして**eBASEjr.**を利用
- **FOODSeBASE**の標準管理項目以外はアドオン画面で情報収集

## ②製品配合管理

- **eBASE**形式で収集した原料規格書情報を用いた製品の配合情報作成
- 配合情報を用いた「一括表示原材料名」作成支援機能、栄養成分自動計算機能の利用

## ③データ活用

- **eBASE**形式で収集した原料情報、商品情報を社内で一元管理
- 得意先フォーマットのエクセル帳票へデータを自動出力
- 検索機能とデータ出力機能を用いた、各種リスト作成

## ④Web公開

- **Webブラウザ**を利用して**FOODSeBASE**のデータを検索・閲覧
- エクセル帳票出力機能・データダウンロード機能の利用

# カネ美食品 株式会社 様

①データ収集

②製品配合

③データ活用

④Web公開

■事業内容 寿司・揚物・惣菜等の小売店舗の展開、CVS弁当の製造・販売

■利用範囲

- ・仕入先からの原料情報の収集
- ・収集した原料情報を用いた、自社製品情報データベース構築
- ・自社運営店舗へのWebブラウザ経由での商品情報提供

■導入経緯

2009年1月 仕入れ先様向けのシステム変更説明会を実施

2009年2月 FOODS<sub>e</sub>BASEを用いた原料規格書情報の収集  
ならびに製品情報の情報登録を開始

2010年5月 店舗公開用の社内用Webサイトの運用を開始

■特徴

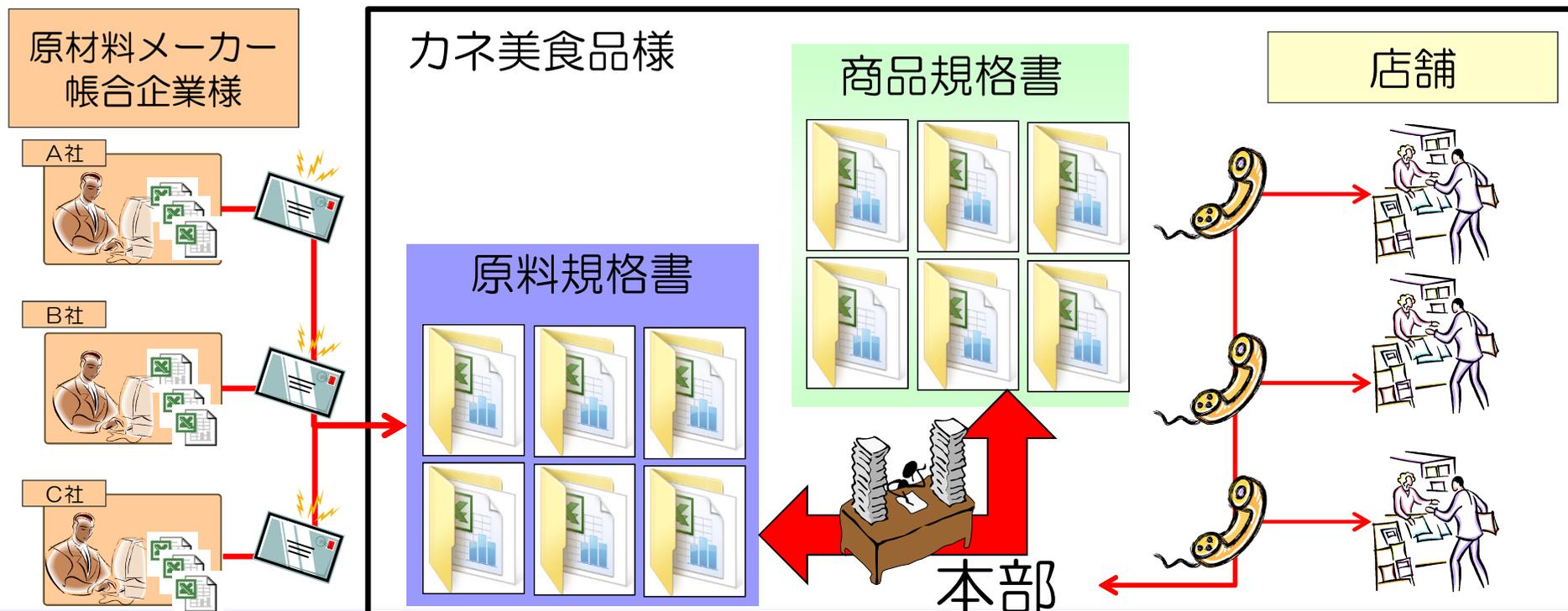
予めシステム拡張を視野に入れ、構築を2次ステップに分割  
FOODS<sub>e</sub>BASEのデータ登録点数、運用状況を見ながら  
システム拡張に着手

# FOODSeBASE 導入前

原料規格書は紙やエクセルファイルで収集・管理

商品構成情報も紙やエクセルファイルで管理

店舗からの商品情報に関する問い合わせ対応に  
時間と手間を要していた。



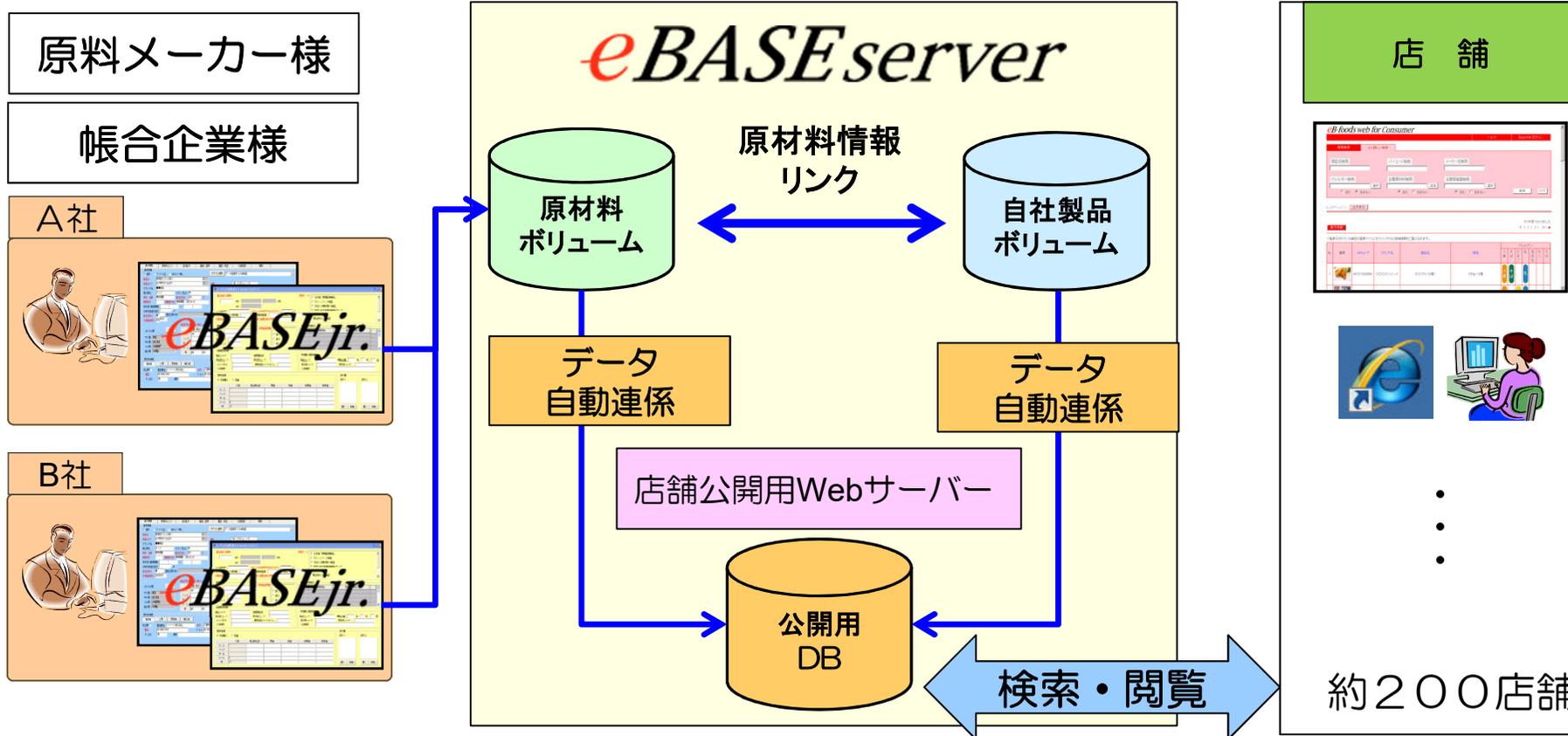
# FOODSeBASE 導入後

①データ収集

②製品配合

③データ活用

④Web公開



- 原料規格書情報、商品情報をデータベース化
- 本部ならびに店舗から検索できる仕組み構築
- 本部における店舗からの問合せ負荷軽減

# 店舗側で検索頻度が高い項目をWeb画面に実装

## 検索項目

コード

品名

カテゴリ

メーカー

主要原材料

  
 いずれかを含む  全て含まない

主要原産地

  
 いずれかを含む  全て含まない

アレルギー

  
 いずれかを含む  全て含まない

## 店舗



お客様からの問い合わせに  
迅速かつ正確に対応。  
販売機会の損失をなくし  
顧客満足度UP！！

<カネ美食品様ホームページ掲載文から抜粋>

安全・安心に関するお客様からのお問い合わせに対して、迅速かつ正確な内容をお答えするため、テナント店舗で取り扱う商品の原材料名、原産地、アレルギー、残留農薬、微生物検査などの情報については本社でデータベース化し、各店舗から検索することができるトレーサビリティシステムを導入しています。

テナント店舗において取扱う商品アイテムは200種類以上であり、それらを構成する原材料の種類ではその数十倍にもなり、これらの正確な情報を収集し、発信することで食の安全・安心ニーズに対応しています。

# FOODSeBASEの採用メリット

1：段階を踏んだシステム拡張が可能

2：多数の導入実績で培った経験、  
ノウハウを用いて、システム構築  
を通じた業務改善のご提案が可能

3：定期的なソフトウェアの  
機能アップ